

(概要版)

対人関係の適応感を高める授業づくり

—グループ・プロセスの振り返りを教科の授業に取り入れて—

長期研修員 青木 栄二

現状と課題

学習指導要領

人間関係の希薄化
情報化の進展(間接体験、疑似体験)

いじめ、不登校、暴力行為など



課題

よりよい
人間関係づくり

各教科の授業を通して
人間関係づくりをしよう!

生徒指導の3つの機能を活かした授業づくり
(自己存在感、共感的な人間関係、自己決定)

～子どもたちの輝く笑顔のために(群馬県教育委員会)～

各教科の授業でグループでの学び合い(話し合いや協同作業)などの**体験**において、その活動の**グループ・プロセスの振り返り**を行う。



各教科で人間関係づくりトレーニング
(グループワーク・トレーニングの振り返り)

グループ・プロセスとは

企業(職場)の組織開発にも使われている
集団の中で、そのメンバーが相互に影響を及ぼしあって集団が発展していく過程、あるいは集団とそのメンバーの間の関係のことである。
(例えば)

- リーダーシップの在り方やグループの様子
- 意見をまとめてくれたのは誰?
- 意見を言いやすくしてくれた人は?
- グループの雰囲気は? など

グループワーク・トレーニングとは

体験

・協力して課題に取り組む
(協同体験)

振り返り

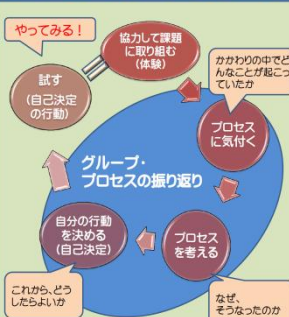
・グループ・プロセスを振り返る(振り返りシートに記入)

まとめ

・全体で感想発表
・教師からのまとめ

行動変容につなげる

グループワークトレーニング(GWT)



グループ・プロセスの振り返り
仲間からのフィードバックで
「今、ここで」の自分に気付く

集団の機能を高める

対人関係の適応感を高める

研究の内容

授業実践1(学級活動)
対話への意欲を高めるスキルトレーニング

ステップ1 傾聴訓練《聴く》
共感的な人間関係の基本は
相手を受け入れる(受容すること)

受容
共感

ステップ2 協力の仕方を学ぶ《伝える》
かかわりの中での自分に気付く
グループワーク・トレーニング(GWT)
グループ・プロセスの振り返り

役割
対話

授業実践2(理科)
グループ活動を通しての人間関係づくり

教科での学び合い(話し合い、協同作業)
グループ・プロセスの振り返り

ステップ 1

相手を受け入れるための「傾聴」訓練

朝の会、帰りの会や
各教科の授業などでも
上手な聴き方の練習

体験

- 先生のロールプレイを見る
- 2人組でロールプレイをする

振り返り

- 互いに評価し合う
- 振り返りシートに記入

まとめ

- グループでの振り返り
- 全体で感想を発表

振り返りシート

上手な話の聴き方のポイントをチェックしよう

話の聴き方のポイント①～④は自分でチェック、
ポイント⑤～⑦は話をした人に聴き方を判定してもらうこと!!
ばっちり☆3つ、まあまあ☆2つ、残念☆1つ

	上手な話の聴き方のポイント	判定
基本 レベル	①話す人の方に体を向ける	☆☆☆
	②話す人の顔を見る	☆☆☆
	③最後まで話を聴く	☆☆☆
	④よそ見や手いたすらをしない	☆☆☆
達人 レベル	⑤タイミングよくうなずいたり、 相づちをうったりする	☆☆☆
	⑥最後に質問や感想をつけたす	☆☆☆
	⑦話しやすい雰囲気をつくる	☆☆☆

生徒の感想から

しっかり質問したりすると新しい発見があった。こっちの話を顔を見て聴いてくれるとうれしかった。相手も同じように思うのであれば、これから話を聴くときには、しっかり話し手の目を見て聴こうと思いました。

ステップ 2

かかわりの中で仲間の意見を正しく聴き、自分の意見を正しく「伝える」ことなど、協力の仕方を学ぶ
(相手に思いや情報を「伝える」訓練)

グループワーク・トレーニング

体験

- それぞれの情報を合わせて、課題を解決する

振り返り

- グループ・プロセスを振り返る(振り返りシートに記入)

まとめ

- 全体で感想発表
- 教師からのまとめ

行動変容につなげる

「一人ではできなかったけど、仲間がいたからできた」という達成感をより深く体験させる

自己評価を行った後、グループのメンバーと共にグループ・プロセスの振り返りを行う。

メンバーからのフィードバック

(自分への振り返り)
自分自身がグループの中でどのような役割をしていたか(グループへの振り返り)
課題達成、集団の機能の観点から振り返る

振り返りシート

1 あなたは活動中にどう感じましたか。(数字に○を付けてください)
①自分の考えを言ってみようと思えましたか

考えた 4 3 2 1 言えなかった

2 グループのみんなに考えを聴いてもらえましたか

聴いてもらえた 4 3 2 1 聴いてもらえなかった

3 グループのみんなの考えをよく聴くことができましたか

聴くことができました 4 3 2 1 聴けなかった

4 課題を解決するために努力しましたか

努力した 4 3 2 1 努力できなかった

2 グループについてどう感じましたか

①リラックスしている 4 3 2 1 ぎすぎすしている

②まとまっている 4 3 2 1 ばらばらである

③積極的である 4 3 2 1 消極的である

3 次の質問に当てはまる人を選んでください。(自分だと思うときは自分の名前を書きなさい)

4 先生の話をよく聴いた人はだれですか

5 先生の話を出した人はだれですか

6 先生の話を出した人はだれですか

7 みんなの意見をまとめたよとしたのはだれですか

8 自分の意見を言いつくしてくれた人はだれですか

4 「先生ばかりが話しているマシン」をして他によかったことや気づいたこと

グループ・プロセスの振り返り

- 活動中のメンバーの姿について伝え合う
- 意見をたくさん出した人は?
 - プリントに記入していた人は?
 - 意見を言いやすくしてくれた人は?

まとめでの感想発表

1, 2の評価に○をつけた生徒の感想

誰かが話しているのに、自分が話を始めてしまったり、話の途中で口を挟んだりしてしまっていた。もっとしっかり話を聴くようにしたいと思った。

生徒の感想から

みんなの情報を一つにまとめてできあがったときはとてもうれしかったし、達成感がありました。いつもより班にとってもまとまりがあり、みんなが意見を言えました。

ねらい グループで互いの考えを交流・共有しながら、白い粉末を区別する方法を見いだす

体験 学び合い(話し合い)



自己決定

自分の考えをもつ

上手な話の聴き方(ステップ1)

受容
共感

協力の仕方(ステップ2)

役割 話し合い
対話 聴く 伝える

共感的な人間関係

意見を言いやすい雰囲気づくり

振り返り

個の振り返り



振り返りシートに記入、思いを伝え合う

振り返りシート

年 組 番 名 前

1 あなたの理科の授業中の活動を思い出して、次の質問に答えてください。(数字に○を付けてください)

①自分の考えを選んで言うことができましたか

答えた 4 3 2 1 答えなかった

②グループのみんなに考えを聞いてもらえましたか。

聞いてもらえた 4 3 2 1 聞いてもらえなかった

③グループのみんなの考えをよく聴くことができましたか。

聴くことができました 4 3 2 1 聴けなかった

④問題を解決するために努力しましたか。

努力した 4 3 2 1 努力できなかった

2 グループの体験や話し合いをして、よかったと思う行動や活動にはどんなことがありましたか。また、次の授業でがんばりたいことなど、思っていること(感想)を書きましょう。

生徒の感想から

みんなで意見を出しながら考えられて、とても楽しかった。これからもみんなで協力しながらがんばりたい。

体験 学び合い(協同作業)

実験して、4種類の白い粉末を区別する

ねらい

役割を分担し、実験に取り組み、それぞれが得た結果を組み立て、白い粉末が何かを根拠を明確に区別する

役割分担
リーダーシップ
など



振り返り

グループ・プロセスの振り返り

振り返りシート

平成23年 月 日 ()

1 年 組 番 名 前

1. グループのメンバーの中で、次の質問に当てはまるのはだれですか。(自分だとと思うときは自分の名前を書こう)

1. 積極的に活動していたのはだれですか	
2. たくさん意見を出した人はだれですか	
3. いい考えを出した人はだれですか	
4. みんなの意見をまとめようとしたのはだれですか	
5. 自分の意見を言いやすくしてくれた人はだれですか	

2. 今日の授業でわかったこと・気づいたことを書きましょう。(勉強の内容、グループ活動での友達のおかげだったことなどを書き留めておきましょう)

グループ・プロセス 観察のポイント《表面》

生徒の行動、しぐさ、表情、発言内容、声の調子

果たしている役割は?
周囲への影響は?



振り返りシートを使って思いを伝え合う

- リーダーシップやメンバーシップを学ぶ
- グループの中の自分の姿に気付く
- 仲間の見方や行動に気付く
- 仲間から学ぶ(仲間を真似る!)
- これからのめあてをもつ

まとめ 全体で振り返りを行い、生徒の気付きを共有・交流していく

互いを認め合う雰囲気が高まることで安心して、自分の思いを伝えることができるようになる

よさを認め合う

生徒の感想

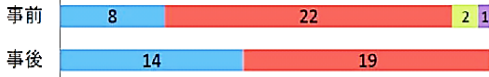
自己存在感

積極的に自分の意見を出して、グループの話し合いができたし、やりやすかったです。自分も意見を出せたりして、とてもうれしかったです。

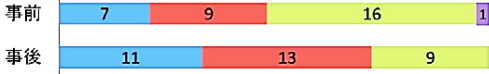
成果

学級の雰囲気 (C&S質問紙)

このクラスでは、クラスでの話し合いの中で、
色々なアイデアが出されます



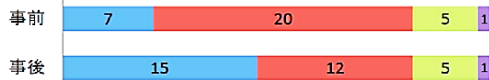
このクラスでは、学校行事や学年行事、クラスの活動について、
新しいアイデアが出されると試してみると試してみることが多いです



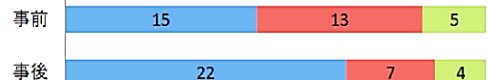
このクラスでは、学校行事や学年行事、クラスでの活動について自分たちで決めて、
実行します



このクラスでは、お互いのことをよく知っています



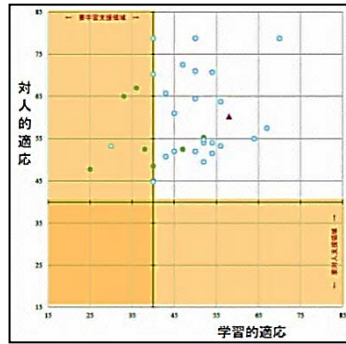
このクラスでは、友だち同士で相談し合います



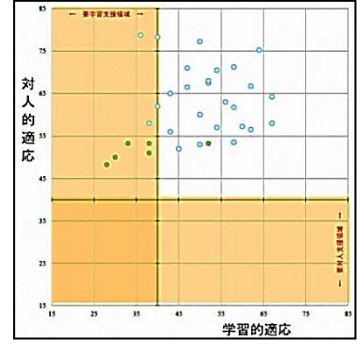
■非常にそう思う ■わりにそう思う ■どちらかと言えば思う
■ほとんどそう思わない ■ぜんぜんそう思わない

学校環境適応感尺度 (アセス)

実践前



実践後



学級平均値

適応次元	第1回	第2回	
生活満足感	54	57	
対人的適応	教師サポート	62	65
	友人サポート	59	62
	向社会的スキル	56	56
	非侵害の関係	60	62
学習的適応	48	49	

適応感が高まった!

対人的適応と学習的適応のプロットを実践前後で比較するとプロットが全体的に右上に移動してきている。これは生徒の適応感が高まったことを表している。また、表の数値からも適応感の高まりがわかる。

C&S質問紙 (学級の雰囲気) の結果から

- 色々なアイデアが出されるようになった
- 出されたアイデアを試すようになった
- 自分たちで決めて行動するようになった
- お互いのことを知ることができた
- 友達に相談するようになった

実践後の生徒の変容 (担任、教科担当の見取り)

- 安心して発言できる雰囲気ができた
- グループ活動が活発になった
- 聴く姿勢がとてもよくなった

課題

- 振り返りの時間を生み出すために、時間設定を工夫する必要がある。
- OGWTなどを計画・継続的に実施することで、共感的な人間関係をはぐむと共に、各教科において学び合いの時間を確保することが重要である。

まとめ

対人関係の適応感が高まる

自己存在感

互いに認め高め合う雰囲気が形成される

自己決定 (行動)

互いの意見を聴き合う雰囲気が形成される

共感的な人間関係

生徒指導の機能を活かした授業の実践が生徒の対人関係の適応感を向上させます



問い合わせ先

群馬県総合教育センター
担当係:生徒指導相談係

0270-26-9217 (直通)